



安心して暮らせるむらづくり

8月28日、川上総合センターで老人クラブ連合会女性部の方を対象に認知症サポーター講習会が行われました。

また、9月16日から村内各地をまわる行政懇談会の際には、「いまから始める認知症予防教室」が催されます。認知症はだれにでも起こりうる脳の病気です。ぜひ、ご参加ください。

● 主な内容 ●

かみせ祭り&匠の盆踊り	2
激闘！剣道交流大会	3
木匠塾サマースクール	6
図書館コーナー	9
かわかみ満足ガイド	10



広報かわかみ

平成20年9月10日発行

発行 奈良県川上村

編集 川上村広報編集委員会

〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7

TEL. 0746-52-0111

ホームページアドレス <http://www.vill.kawakami.nara.jp>

メールアドレス soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp

一、私たち川上は、自然と一体となった産業を育んで山と水を守り、都市にはない豊かな生活を築きます。

(川上宣言は全部で5つの項目になります。毎号1項目ずつ掲載していきます。)

か

み

せ

祭



上：子どもたちの和太鼓演奏
下：いつも人気の金魚すくい



8月16日に、恒例のかみせ祭が川上村役場前（迫）で催されました。やまぶき保育園児と川上小学校児童による和太鼓演奏を皮切りに、今年もさまざまな催しが舞台で演じられました。おなじみとなったビンゴ大会、モグラ叩きゲームなどが行われ、大いに盛り上がりを見せていました。

今年の司会・進行は吉本興業所属の迫司郎さん（じゃんじゃん横丁）とくもんりりさん（ちゅちゅ）で進められました。

プログラムの合間には、くもんりりさんによる風船を使用したバルーンショーが行われ、いつもとは違った演出に子どもたちは舞台にかぶりつくように注目していました。

日が暮れると盆踊りに多くの踊り子が集まり、踊りの輪は2重3重に賑わいを増していきました。



おなじみになったモグラ叩きゲーム



舞台狭しとパフォーマンスのカラオケ大会



バルーンショー

匠の聚の盆踊り



太鼓の音と音頭にあわせて

8月17日に、匠の聚（東川）では盆踊りが催されました。屋台は全て匠の聚と東川波津の住民による手作り、くじ引きの景品は匠の聚のアーティストの作品が並べられました。会場となったイベント広場までの道中には、多くの灯籠が灯され、訪れた人は幽玄で幻想的な雰囲気の中、ひとときを楽しんでいました。

激闘!! 剣道交流大会

8月30日に、今年で6回目となる剣道交流大会が川上村立武道場（旧東小学校体育館・北和田）で開催されました。

参加者は年々増加し、今年は近畿各地また海外はフランスから170団体、828名の選手登録がありました。監督や保護者なども

含めれば、約1、800名にもなりました。

本村からは川上源流館の15名が選手参加し、藤田大志君（西河）が選手宣誓を行いました。

各地でも大小の剣道大会が開催されますが、一団体で開催される規模としては希にみる大きな規模



藤田大志君による選手宣誓



雨のため、テント下で試合前の稽古



川上源流館剣士たちも頑張りました

となりました。

試合を前に本村の上垣功氏（教士8段・宮の平）と森文男氏（教士8段・大阪府警）の二人による日本剣道形演武が行われ、会場には緊張した空気が漂い、いよいよ試合が始まりました。

この大会は、ほかにはあまり見られない幼年の部が設けられています。今回も、ちびっ子剣士が力いっぱい姿を見せてくれていました。

川上源流館剣士では一般男子の部に脇田晃司さん（宮の平）が3位に入賞しました。成績にかかわらず、剣士たちは日頃の練習の成果を発揮し、素晴らしい試合を展開してくれました。

各杯受賞者（敬称略）

- 知事杯 勝美 真幸（尚武館）
- 村長杯 松下 尋（南十津川少年剣道クラブ）
- 議長杯 畝尾 奈波（尚武館）
- 教育長杯 北村 美鈴（郡山剣道クラブ）
- 吉野署長杯 前田隆太郎（大和青少年文化研修道場）
- 小林利道杯 久保 瑛乙（川上源流館）
- 特別賞 東 修平（橘至誠館）
- 城戸 勇人（守口少年剣友会）

岩壁での修復作業

「土倉翁造林頌徳記念」磨崖碑再生事業

※頌徳：徳をたたえること



庄三郎氏の肖像画

8月7日～9日にわたり、鎧崖（大滝）に刻まれる磨崖碑の再生事業が行われました。

昭和56年に再生事業が行われてから27年が経過し、「土倉翁造林頌徳記念」の文字の多くが読めなくなっていました。

この再生事業は地元NPO法人「芳水塾」が主体となり、土倉庄三郎氏のひ孫となる土倉大明氏（京都府）などの協力を得て、実施されました。

鎧崖の上部からロープを降ろし、大明氏など6名が代わる代わる崖壁での作業を行い、はっきりと文字が確認できるようになりました。磨崖碑をご覧いただければ一目瞭然ですが、当時は大プロジェクトだったことが想像されます。ちなみに、文字の大きさなどは次のとおり記録されています。

刻字の縦横 6尺四方

(約1・8m)

刻字の深さ 1尺2寸

(約36・3cm)



上：再生事業が行われた磨崖碑
右：鎧崖壁面での作業の様子



清流

上の写真は、大滝の川向にあります。「土倉翁造林頌徳記念」と彫った磨崖碑で、少し下の方の文字が見えなくなるところをきれいにしていただいたのです。

この磨崖碑は、土倉翁没後4年して、東京農科大学（現在の東京大学農学部）の本多静六という有名な学者が、林学の実際を教わった報恩のために、お金を出し、川上村や篤志家の協力を得て彫ったものです。

近代の奈良県で、大人物5人を挙げるなら、どんなお方でしょうか。県教委におられた西川良一先生の著書によりますと、なんとそのトップが、わが川上村が輩出した土倉庄三郎なのです。

最近、この土倉翁のことをもっと学びたいとお若い方からの呼びかけがありました。月に一度、会合を開いて、土倉翁のことを話題にし、関係のある場所を訪問し、

現在、この磨崖碑は村指定有形文化財に指定されていますが、いつ、誰が彫刻したのでしょうか。

この磨崖碑の建設は庄三郎氏が大正6年に亡くなり、その4年後のことになります。

林学博士である本多静六氏が、当時のお金で3000円を資金に磨崖碑の建設を目指して来村しました。

しかし、この事業には総額で1、850円を要し、北村宗四郎氏、阪本仙次氏、北村又左衛門氏や川上村に寄付を募り、大正10年3月18日に足場建設へ着工することができました。

この事業には多くの村民が人夫として参加、協力を行ったそうです。

足場は延べ150人の人夫が25日をかけて建設を行いました。

そして、文字の彫刻には、延べ180人の人夫が50日をかけ、着工から74日を数えた大正10年5月30日に完成しました。

足場の高さ 18間(約32・7m)
足場の幅 6間(約10・9m)



本多静六氏・東京農科大学教授時代(大正10年頃)
写真提供 埼玉県菖蒲町

費用総額 1、850円

北村宗四郎氏	150円
阪本仙次氏	150円
北村又左衛門氏	400円
本多静六氏	300円
川上村	850円

本多氏が建設を決意した理由について「嗚呼土倉翁の功業や冀くは此碑と共に永久に傳へて以て我國林業の發達に光輝あらしめんことを」と書物に残しています。また、この磨崖碑の文字は、当時の文字研究の権威であった文学士の後藤朝太郎氏に依頼を行い、快諾を得たとも記しています。

この磨崖碑建設を目指して来村した本多氏とは、どのような人物だったのでしょうか。

当時の首相(山縣有朋氏)から「樹喜王」の称号が送られた庄三郎氏は一般的には「造林王」と称されていますが、本多氏は「公園の父」と称され、東京農科大学(現在の東京大学農学部)の教授をつとめたほか、さまざまな公職も歴任されています。

このような大人物にも尊敬された庄三郎氏の偉業を、私たちは後世へと伝えていきたいと思います。



壁面で作業を行った皆さん

清掃したりしています。

何かいい会の名前をと考え、土倉翁の開設された芳水館という私塾の名前からいただき、「芳水塾」とつけ、今はNPO法人として登録できました。

芳水館は、もと川上第一小学校の前身です。土倉翁が明治15年に開設され、漢文と英語と剣道を教えました。この英語教育には、横浜から先生を招聘し、奈良県英語教育の草分けとも言われています。目を遠く未来に見据えて、思い切った事を実行されたのが土倉翁です。

芳水塾は、土倉翁のことが知りたい方なら、どなたでも参加できます。よく学んで、誇りに思っていたきたいのです。どの地域にお邪魔しても、その地域が生んだ偉人は大切に扱われております。

川上村の住民として、正しく、愛情を持って、わが村が生んだ土倉翁のことを理解し、大切にしたいと思っています。

そのことが村の活性化につながれば良いと思っています。

NPO法人芳水塾

理事長 古瀬 順啓

木匠塾サマースクール

8月6日～8月12日にわたり、川上村木匠塾サマースクールが開校しました。

今年で11回目となるサマースクールには、7つの大学（大阪市立大学、大阪芸術大学、大阪工業大学、近畿大学、滋賀県立大学、摂南大学、奈良女子大学）の学生たち77名が参加しました。

作業中の安全や健康面への配慮について注意を払いつつ、白川渡オートキャンプ場と木匠館（旧トントン工作館・東川）で木造建造物の設計や建築の実習が行われました。



上下：連日、炎天下での作業が続きました



本村では建築・インテリアなどを専攻する学生たちに、野外で実習する機会を提供し、将来の建築士の養成に力添えを行っています。これは、本村の基幹産業である林業の振興対策の一つとして、彼らに吉野杉が優秀な建築材である

ことを理解してもらおう狙いがあります。こうした取り組みも、吉野杉ブランドの確立の一助として考えています。

皆さんもぜひ、彼らの作品をご覧いただき、触れていただけたらと思います。そして、ご意見やご感想などを、役場地域振興課までお寄せください。今後の彼ら、木匠塾の参考とさせていただきますので、よろしくお願ひします。

【問い合わせ先】
役場地域振興課

TEL 52-0111



試行錯誤を繰り返し、協力して取り組んでいました

08年川上村木匠塾広報担当

大阪市立大学3年生 上西 亮

今年で11回目となる木匠塾サマースクールを実施しました。今年には木匠ベルト（白川渡オートキャンプ場）、新設・改修の軒（木匠館）の制作を行いました。

今年の木匠ベルトの名前は「あいあい」です。木匠塾は、あたにかい村の人や吉野の大自然、先生や学生たちなどの多くの人に支えられていると感じています。

そのふれあいや、支え合い、みんなの愛。本当に多くの「あい」からできています。そして、それから木匠塾の「あい」を表現したのが「あいあい」です。

また、木匠館の奥には木材を保存しておくために、改修した軒と新設の軒を制作しました。もともと木匠館の奥にあった老朽化した軒を改修することで、光の入る明るい空間となりました。今回、新設した軒も、より多くの材を保存できるように工夫しました。

みんなの木匠塾がますます発展するとともに、実習の場を提供くださる川上村の発展につながるよう活動していきたいと思ひます。

今年 の 作 品 集



- ①「あいあい」木造構造物
(白川渡オートキャンプ場)
- ②注意書き看板
(白川渡オートキャンプ場)
- ③④木材保存場所などの軒
(木匠館・東川)

こんにちは 保健師です



「夏の疲れ残っていませんか？」

残暑厳しい日々が、続いていますが、夏の疲れを感じることなくさわやかに毎日お過ごしですか？
 まだまだ、日差しが厳しいこの時期は、暑い中で仕事や活動をしたり、寝苦しい熱帯夜が続き睡眠不足になったり、暑さで食欲がなくな疲れを感じやすい季節です。
 ◎疲労回復の基本は、十分な睡眠、バランスのとれた食事と適度な運動等により体調を整え、気持ちを沈ませることなく、いかに心身をリラックスした状態に保つかです。
 ◇たっぷり熟睡できた質の良い睡眠は、日中の活動で疲れた体と脳の疲れを取り、体と心を回復させ、はりのある生活を営む活力となります。そのためには、深い眠りのための工夫も必要です。

就寝直前まで、頭を使っていると寝つきが悪くなりがちなので、入眠体制に入るきっかけ作りは、大切です。その一つに、好みの入浴剤も活用しゆったりと入浴を楽しんだり、脳をリラックスさせる効果のあるカルシウムたっぷりの温かい牛乳を飲みながら、ゆるやかな音楽を聴いたりするなど、短時間でも心地良い時間作りをすることは、大切です。
 ◇バランスのとれた食事は、疲労回復に、欠かせません。疲労回復には、脳が携わり、脳が活性化することで、改善されることが、わかってきました。
 そのためには、脳の働きを良くするビタミン類、アミノ酸、カルシウムをはじめ偏りない食事を摂ることが大切です。
 ◇適度な運動も疲労回復や熟睡を促す効果があります。
 ウォーキングや軽いストレッチ体操等で、さっぱりとした汗を流すことは、血液循環を良くし新陳代謝を良くし、身も心も軽くする効果があります。
 ご自身に合った、身も心も軽やかになる疲労回復法を見出して免疫力をも高める、笑いある日々を過ごしたいですね。

園学コーナー



ものもと
物盗られ妄想
もつそろう

「物盗られ妄想」は、高齢者の妄想の中では最も多く見られるものです。

かつては、認知症の人が物を置いたり、しまった場所を忘れたための被害妄想と見なされていましたが、認知症がない方にも見られることや、妄想の対象者等への攻撃性が強いなどの特徴が目目されるようになりました。

その症状は、次のようなものです。

- ①物を置いた場所を忘れるという記憶障害がある（ない場合もある）
- ②見当たらないと「盗られた」と即断する
- ③被害のわりに騒ぎが大げさで、下着や靴下の類でも警察に届けたり近所にふれ回ったりする

- ④犯人は娘や嫁、ヘルパーなど身近にいる特定の個人か、2、3人の人であるという
- ⑤訴えは、犯人に対する攻撃の色彩が強い
- ⑥訂正することが不可能。例えば、物が見つかる、「私が騒いだので、こっそり戻した」と判断し、自分の誤りであったことを認めない

このような訴えがあるとき、家庭の中は殺伐（さつぱつ）としてきます。病的だと思えず、感情的な対立が続いて、ケンカが絶えなくなることもあります。

家庭内だけで解決しようとせず、地域の包括支援センターや精神科医に相談されることをお勧めします。薬の治療を含め、周囲のかわり方など、ヒントや回答が得られるはずです。

奈良県医師会

◇川上村地域包括支援センター

（役場住民福祉課内）

TEL 52-0111

◇老人性認知症センター

（医）鴻池会 秋津鴻池病院

TEL 0745-64-2069

村内インフルエンザ
予防接種受付のお知らせ

《受付期間》

平成20年10月31日（金）まで

「インフルエンザ予防接種のお知らせ」を広報9月号に折込しております。

詳しくはチラシをご覧ください、川上診療所へ直接申し込みください。

【問い合わせ先】

川上診療所 TEL 52-0344

選挙管理委員会

委員の異動

川上村選挙管理委員会委員であった加藤十四代氏が亡くなったことに伴い、補充員の中から大辻哲二氏が委員となりました。

今回の異動により、委員は次の方々となりました。（敬称略）

辰巳 功（委員長）

菊谷 孝雄（職務代理者）

大辻 哲二

上平 賢次

「災害と避難」

立春から数えて二百十日の9月1日ごろは、台風が多く発生することから、昔から厄日として怖がられてきました。ところで台風災害の中でも、夜の10時から早朝までの時間帯に災害が襲ってきた時に、人命被害の割合が高いことをご存知でしょうか。

危険が予想されたら、たとえ無駄になったとしても、早めに避難することが最善の方法です。

安全な避難方法は、

- ・携帯品は必要な物だけにして、背負うようにする
- ・家族、隣近所そろって安全な場所に避難する（公民館や公共施設等）
- ・がけ下や壊れそうな塀ぎわを避ける などを避ける

くれぐれも、単独行動は避けましょう。

吉野広域行政組合消防本部

● ● 図 ● 書 ● 館 ● コ ● ー ● ナ ● ー ● ●

図書館司書の

ホソの気持ち

夏休み、そして4年に一度のオリンピックも終り、ようやく猛暑も一段落した頃でしょうか。

9月1日は「防災の日」でした。今年は東北地方に2度も大きな地震や、豪雨による土砂災害が起き、改めて自然災害の恐ろしさを感じさせられました。

今月は、自然災害への防災の備えについて書かれた本をご紹介します。

図書館カレンダー ～色の日が休館日～

●

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
9	7	8	9	10	11	12
月	14	15	16	17	18	19
	21	22	23	24	25	26
●	28	29	30			

●

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
10	5	6	7	8	9	10
月	12	13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24
●	26	27	28	29	30	31

【問い合わせ先】 村立図書館 TEL 52-0144



『自然災害ハンドブック
—家族と自分を守るために、
いまずく危機管理を！—』

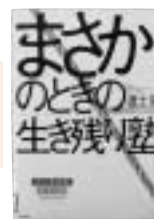
山と溪谷社 編
アシトチエ・プレス 著

自然災害大国日本。地震にはじまり、火災、雷、台風、火山、津波、救急法まで、自然災害とその対処法をコンパクトに解説。



『今すぐできる！ママが子どもを地震から守るための本』
ママが地震災害から子どもを守るプロジェクト 著

発災時の屋内・外での対処法や家で簡単にできる耐震術など、地震がおきた時に子どもを守るための具体的な方法をテーマごとに紹介。ママのための防災マニュアル本です。



『まさか！のときの
生き残り塾』
進士 徹 監修

アウトドア体験から生まれたサバイバル生活術を豊富なイラストで紹介。生きるための基本的な生活術（火・水・調理・野営・運搬・食料確保など）をQ&A形式で紹介しています。



子どもも大人も夢中になりました

8月24日に、川上総合センター（宮の平）2階研修室で、夏休み工作教室が催されました。
これは村立図書館主催の教室で、丸谷昭治さん（吉野町）らの指導により進められ、午前の一閑貼りにより16人、午後のひな人形づくりに19人で、合計35人の参加をいただきました。
村立図書館ではいろいろなイベントを考えていますので、ご参加よろしくお願ひします。

いっかんば
一閑貼りと
ひな人形づくり

～樹と水と人の共生・川上村の情報～

かわかみ満足ガイド

匠の聚 (たくみのむら)

▲匠の聚フォトコンテスト2008

フォトコンテスト作品募集中!

①**募集テーマ** 奥吉野の情景
～あなたが捉える奥吉野の魅力～

②部門

- ・ネイチャー部門
- ・ドキュメント部門

③撮影エリア

吉野郡全域
(旧西吉野村、旧大塔村も可)



④募集締切

平成20年9月30日(火) 午後5時必着

※プロ・アマを問いません

《匠の聚 TEL 0746-53-2381》

山の学校達っちゃんクラブ

★せせらぎを聞きながら「筏場ハイキング」

紅葉が始まりかけた筏場を歩きましょう。はらはらと舞い散る落ち葉をながめながらゆっくり森呼吸してみよう!

と き 平成20年10月25日(土)
10:00～15:00

定員 30名

参加費 一般 1,000円
小人・幼児 500円

※抽選締切は、1ヶ月前

※電車の方は、近鉄大和上市駅まで送迎あり。

《山幸彦のもくもく館 TEL 0746-53-2929》



ふるさと市開催日

【9月】7・13・14・21・23・28

8:30～16:00 商工会前

《役場地域振興課 TEL 0746-52-0111》

教育委員会

●『南和ふるさとフォトコンテスト入賞作品展』

開催中!!

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」や奈良県南和地域の魅力を込めた作品、51作品を展示しています。

と き 平成20年9月8日(月)～21日(日)
10:00～17:00

ところ 総合センターやまぶきホール3階
展示ギャラリー

入場料 無料

《教育委員会事務局 TEL 0746-52-0144》

森と水の源流館

■もりみず探検隊「後南朝隠し平ウォーク」

吉野川源流の三之公の森深くには、後南朝の行宮跡と伝わる場所が残されています。

源流の秋を楽しみながら行宮跡まで歩いてみませんか? (健脚向きです)

と き 平成20年10月19日(日)
9:00～17:00

定員 20名 (小学5年生～)

参加費 小中高 1,700円
大人 3,500円



■吉野川紀の川しらべ隊「バッタリンピック」

和歌山市「水ときらめき紀の川館」付近、紀の川の河原でバッタの観察会・バッタのオリンピックを開催します。

と き 平成20年10月26日(日)
10:00～16:00

定員 30名 (小学生～)

参加費 1,000円

※和歌山市「水ときらめき紀の川館」集合・解散
《森と水の源流館 TEL 0746-52-0888》



川上村内の風景・行事・自然・歴史などいろんな情報を日替わりで発信しています。
是非ご覧になって下さいね!

QRコードを読み取って
携帯電話で「かわかみブログ」にアクセスしよう!

<http://blog.livedoor.jp/kawakamimura/>



弁護士会無料法律相談

奈良弁護士会では10月1日～10月7日の「法の日」週間記念行事として無料法律相談会を実施します。

とき 平成20年10月1日(水) 午前9時～12時・午後1時～4時

ところ 奈良弁護士会

受付 9月16日～9月26日まで電話予約を受付。

※土・日曜日、祝日を除く

【問い合わせ先】奈良弁護士会 TEL 0742-22-2035

全国一斉司法書士法律相談

10月1日は「法の日」と定められています。そこで、不動産の相続・売買などの登記に関すること、多重債務、成年後見、その他訴訟に関することの無料相談会を奈良県司法書士会が次のとおり開催します。

① **とき** 平成20年10月6日(月)

～10月10日(金)

午後1時～午後4時

ところ 奈良県司法書士会館

② **とき** 平成20年10月11日(土)

午後1時～午後3時30分

ところ かしはら万葉ホール

研修室1

【問い合わせ先】

奈良県司法書士会

TEL 0744-22-6677

行政書士会無料相談

行政書士制度の理解と普及を目的し、相続・農地・離婚の関係、建設業や運送業などの営業許可などの無料相談会を実施します。

① **行政奈良なんでも無料相談所**

とき 平成20年10月11日(土)

～10月13日(月・祝)

ところ ならファミリー5階

特設会場

② **電話無料相談**

TEL 0742-95-5400

とき 平成20年10月1日(水)

～10月31日(金)

ところ 奈良県行政書士会事務局

【問い合わせ先】

奈良県行政書士会

TEL 0742-95-5400

無料調停相談

奈良県調停協会吉野支部では、つぎのとおり無料調停相談を行います。予約は必要ありません。※詳しくはチラシをご覧ください。

とき 平成20年10月7日(火)

午前10時～午後3時まで

ところ 南和労働会館
吉野町中央公民館

【問い合わせ先】

奈良県調停協会吉野支部

TEL 0747-52-2490

**大切な契約は公証役場で
公証週間10月1日～10月7日**

遺言を残したり、離婚に伴う養育費、慰謝料などについて契約するときは、遺言書や契約書を作成しますが、せっかく作成しても、その文書の内容が不明確だったりして紛争になることが少なくありません。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

とき 毎週月～金曜日
(祝日は除く)

午前9時～12時

午後1時～5時

ところ 高田公証役場

TEL 0745-22-7166

交通事故のない やすらぎの 大和路づくり

大和の交通マナーを高めよう

秋の交通安全県民運動期間 平成20年9月21日(日)～9月30日(火)

運動の基本は「高齢者の事故防止」です。

運動の重点は

- 1 すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 2 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 3 飲酒運転の根絶
- 4 二輪車・原付車運転中の交通事故防止

2008 川上村地域づくりインターン事業



下多古村有林での研修

今年で9年目を迎えるインターン事業は地域における体験、住民との交流を通して、自らが望む成果を得ると共に、地域の活性化に貢献してもらうために各地で実施されています。今年は5名の学生が川上村を訪れ、いろいろな交流や貴重な体験をさせていただきました。

今年、地域づくりインターン事業に参加した学生から、感想が届いていますのでご紹介します

川上村は初めて訪れた村でしたが、村の方とも仲良くすることができ、とても充実した2週間を送ることができました。

林業の村というだけあり、日本三大人工美林は本当にきれいだなと思えました。林業の名人のお話も聞くことができ、勉強にもなりました。

2週間、川上村で過ごして、村の過疎化や高齢化等の問題にも向き合うことになり、いろいろと考えさせられました。同じような問題に取り組んでいる村がほかにもたくさんあるのだと思うと、将来力になりたいとも感じました。

大学では感じる事とできないような事を学ばせていただき、本当にありがとうございます。

また、川上村を訪れた時には、温かく迎えていただければと思います。

僕がこのインターンに参加した理由は普段何気なく流れていく生活の中で『このままじゃダメだ!! 何かをしたい!!』って気持ちが芽生えたからでした。

そんな気持ちを抱えながらこの川上村に来たのですが、役場の人達の温かさ、村の人達の繋がり、強さにそんな思いはぶっ飛んで、2週間が過ぎた頃には川上村のファンになってる自分がいました。川上村には都会にはない素晴らしい自然や村の人達の優しさが溢れています!!

変わる事も大事ですが、川上村の良さを変わらずに守っていったらいいと思います。

本当にありがとうございます!!

私は森林や林業に興味があり、吉野林業はじまりの村である川上村にきたいと思い、このインターンに参加することになりました。

このインターンで知り合った人はみんなやさしく、おもしろく、いろいろ初めての体験をさせてもらいました。

1日遅れで川上村に来て、2日早く帰るということで、みんなと一緒にいる時間が短かったけど、本当に楽しかったです。

また来年、この川上村でみんなに会いたいです。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。



いわま のぞみ
岩間 望
東京農工大学農学部3年



きくち てっぺい
菊地 哲平
専修大学商学部3年



まなべ さやか
真鍋 沙耶香
愛媛大学農学部3年生



「ここが人口約2,000人の村なの!」第一印象は想像と違いました。たくさんの立派な施設に大きな国道の通った活気のあるところでした。実は、人も車も行きかわないような場所を想像していません。

川上村には歴史ある人口林やきれいな水源などたくさんあります。特に川上村の方々はみなさんとても優しく、気さくで大好きです。

第二の故郷(笑)川上村に出会えてよかったです♪この境遇全てに感謝です。



あやか 矢野 彩香
法政大学大学院1年

僕は先輩に紹介され、この川上村インターンに参加しました。インターン初日は「これから2週間長いな笑」なんて思っていました。今思えば2週間なんてあっという間でした!

このインターンでは貴重な経験を沢山することができました。中でも林業体験などは普通の生活では絶対にできないことなので、とてもいい経験になりました。

また、盆踊りにも参加させてもらったのですが、村の人のテンションの高さと仲の良さにビックリしました。来年も絶対に踊りに来たいと思います!!

インターン中は沢山の人の人たちに世話になりました。色々とお話を聞いてくれて本当にありがとうございました。また祭りの時期になったら帰ってきます。



しょうへい 山下 翔平
専修大学商学部3年

“水源地の村”からの提言 「地域をいかす環境教育とは」

8月27日に、社団法人近畿建設協会による支援シンポジウムとして、橿原市商工経済会館で”水源地の村”からの提言「地域をいかす環境教育とは」が、森と水の源流館の主催により催されました。

森林ジャーナリストの田中淳夫氏を迎え、「吉野林業は学びの“びっくり箱”」と題した基調講演をいただきました。

講演では、「森林大国」日本が昔から緑に包まれていたというのは幻想であって、実態は中世をピークに森林破壊が深刻化、建材や燃料としての木材不足が浮世絵や写真で説明されました。文献によれば1501年に川上村で初めての植林活動が始められ、これは世界的にも画期的なことだったと田中氏は話されていました。



シンポジウムには150人が参加

続いて山本公雄先生（橿原市立白檀北小学校）、市川圭造先生（和歌山市立教育研究所）からは、川上村と森林環境教育について体験校として報告発表が行われました。その後、田中氏と辻谷達雄館長（森と水の源流館）による森林放談が行なわれました。

田中氏は「大きな流れが弱い地域に出現している。山村の問題を放置すれば、将来、都市部は大きな問題を背負ってしまう。」と語り、辻谷館長は「次世代を担う子どもたちに環境問題を理解してもらえるように、今後も取り組んでいきたい。」と抱負が述べられました。

村史最大の惨禍 伊勢湾台風来襲から50年⑫

白川渡
地区

体験した貴重な教訓を共に振り返って!!

7月23日に白川渡公民館で、伊勢湾台風当時のお話を聞かせていただきました。

当時の白川渡は56世帯、人口は237人。家屋被害は流失3軒、全壊1軒でした。

高岩橋や武光橋（武木）が流されるなか、吊り橋だった鍬の瀬橋が流されずに残りました。吉野川を渡る貴重な橋となり、多くの地域の方が利用することになったそうです。

Aさん 電話も無いしね、夜が明けてから周りを確認したという状況でした。白川渡でも国道沿いの人らは、避難してきてくれてたんちゃうかな。

Bさん そうやな。流失した家の人も、皆で荷物を運んでいる間に、避難してもらいました。

Aさん 翌日の朝起きて、ひよつと玄関を出たら、上流の方にあつた高岩橋やら国道沿いの家が無くって凄く広く見えたんです。

その前日の夜、家とかが流された時に玄関を開けて「どれぐらい降ってるんかな。」と外を見たら、ムーっとした土の臭いがしました。あの時に流れたんではないかな。なんとも言えん土の臭いがしてましたな。

Cさん 当時は谷から、彫った木を樋にして、何軒か集まって分水を作って、そこから取り水しとってんな。

もちろん、そんなことですから、全部、台風で飛んでしまっただんです。台風の後、一番最初に仕事したのは、国道沿いの流れた家の人らに声をかけてきた

というのもありますが、区の人足で取り水を直す作業でした。

Bさん そういや、熊野街道あたりで、朝からやかましく喚く声が聞こえてね。実は井光の人たちが迫へ行くこう思って降りて来たそうですが、谷が溢れて道が判らんようになっていたんですわ。

だから、どこを歩いたらエエかでワイワイ言うてたんでしょな。

そこから台風の後も井光や武木の人は武光橋（武木）がなおるまでは、この鍬の瀬橋を渡りに来てましてんわ。吊り橋をね。

ところが、ここの中奥川にか



流された高岩橋の橋脚と国道側の様子

かっている谷口橋って言うんですが、その橋は大川（吉野川）で中奥川の水が押し戻されてダムみたいになってしまおうてね、ほんで残ってくれたみたいですよ。

あとから、「あの橋、よう残っ

たね。」と言われたもんですわ。水がどっとこどっとこ流れてたら、あんな橋、真っ先に流されてる筈やって話でしたわ。

Cさん 井光の人が台風の後にここを通った時、「畑の野菜の葉っぱが雨風でどうもなっていないのが不思議やな。」って言うてましたわ。

Bさん 昔から白川渡は台風では、風の心配はないねんけど、その代わり、冬の風が厳しいねん。西の方向が空いてますさかい、冬にももの凄く強い風が吹くんや。「なんやー」って思うぐらいのね。その代わり、台風が来ても表を開けて構わへんねん。ぜんぜん風がないから。

Aさん 食糧は皆で運んでくれましたましたな。畑で作った野菜を食べてたんで、無かったのは米だけやったと思いますわ。

Cさん いまでもよう忘れんねんけど、ちょうど北塩谷に親戚がありまして、その親戚の親戚が高取町の市尾にありましてん。



これでもほかの地域を考えればマシでした

そこが川上村の台風被害を聞いてくれて、「米を取りに来い。」って連絡をくれたんです。私は、70歳になる北塩谷の親戚と一緒に歩いて連れってもらいました。市尾では一晩泊めてもらって、あくる日、弁当も用意してもらい、米を背負って帰りました。帰ろうかと思った時なんです、「いくら米を入れてくれたんやろか。」と気になってね。そしたら1斗5升と言いますんや。その時、私はまだ27歳やったださかい、「折角、ここまで来たんやから、2斗は欲しいな」と内心欲に思ったんです。

その北塩谷の親戚は1斗を背負って帰りました。吉野神宮まで電車で戻って、吉野神宮からはずっと歩きで五社峠を越えてね。

五社の峠を越える時、下からは買い出して帰って来る人や食料を調達に出てくる者でいっぱい、数珠繋ぎに人の行列が続いてましたわ。

特に酷かったのが迫周辺。もう川へ降りたり、山へ登ったりしながら迫へ帰ってきました。その70歳の親戚は、もうそこで家に到着ですから、よろしいですわな。

私はそれから、また独り歩いて帰りましたがな。米袋を紐で負いねたら、上手く肩の上まで上げれるんやけど、リュックサックなんで背中にブラクってました。後ろへ引っ張られるものですから、腰を曲げやな歩かれへんだんですわ。

ほんで、日暮れにようやく家に帰ってきて、リュックを降ろしたら、背中が軽くなって、体が前へ向いて飛んで行ったわ。その後、2日ほどして自衛隊がヘリコプターで食料を小学校へ降ろしてくれました。

Bさん 確か、直に仕事へかかったと思うわ。

というのも、国道へ出て行く橋がなかったけども、つり橋に沿うて線を張って、集材機を据えました。そこまでは小さい2トン車で材木を運んできて、そこへまくって、また括って、その集材機で国道側へ渡してんな。国道側は大きなトラックに積み替えて、市場まで運んでましたんや。

Cさん 私は道路の復旧作業も忙しかったな。いろんな所で道が崩れてるから、丸太で棧道を架けててんわ。

白川渡の八幡トンネルの辺りは一番悪いところなんやけど、わりに大丈夫やったな。

Bさん 国道をまともに歩けたのは井戸ぐらゐまで違ったかな。そこから、高原土場までやったら、人知からずっと河原とか山ばっかりやったわ。

当時のお話や貴重な写真の提供をいただき、ありがとうございます。

ジュニアオリンピック決定

福田君が2大会連続出場

10月24日～26日に日産スタジアム（横浜市）で第39回ジュニアオリンピック陸上競技大会が開催されます。

この大会に奈良県を代表して、福田良太君（東川）が昨年に引き続き、出場することが決定しました。今年は800mの部に出場します。

全国47都道府県の代表者だけが出場できるジュニアオリンピック。ぜひ、福田君には日頃の練習の成果を発揮してもらいたいですね。

住宅・土地統計調査のお知らせ

昭和23年から5年ごとに行われており、今回が13回目となります。対象となる世帯には、9月下旬には調査員がお伺いしますので、ご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ先】

役場総務課

TEL 52-0111

男性料理教室の案内

健康的で簡単に美味しくできる料理を学ぶ、男性のための教室を開催します。

この機会に台所や包丁・鍋をもっと身近に感じてみませんか？

詳しくは広報10月号の折り込みチラシをご覧ください。

と き 平成20年10月17日(金)

ところ 川上総合センター 1階 調理実習室

※受付締切 10月10日(金)

【問い合わせ先】 役場住民福祉課 TEL 52-0111



6月に行われた料理教室の様子

自衛官各種目募集のご案内

募集種目	試験日時	一次合格発表
任期制自衛官 「2等陸・海・空士」	平成20年9月16日 ～21日（内1日）	未定
一般曹候補生	平成20年9月20日	平成20年10月3日
航空学生	平成20年9月23日	平成20年10月9日

◇受験資格

- ①18歳～27歳未満の者。
- ②航空学生は、高卒（見込者を含む）21歳未満の者。
※上記ともに男女不問。
※任期制自衛官の任期は次のとおりです。
1 任期は 陸：2年、海・空：3年
2 任期目以降は 2年を1任期

【問い合わせ先】

自衛隊五條地域事務所 TEL 0747-22-3789

村民体育大会(第50回記念大会)

と き 平成20年10月12日(日)

ところ スポーツ公園周辺

受付 8:00 / 開会式 8:30

大福引抽選会 15:00

閉会式 15:30

内容

パターゴルフ、グラウンドゴルフ、健康づくりブース、軽スポーツ ほか

※予備日 10月13日(月・祝)

※当日の進行により時間が前後しますので、ご了承ください。



【問い合わせ先】

村教育委員会事務局 TEL 0746-52-0144



川上俳句会

藤本安騎生選

特選 朝涼や間伐されし杉木立

古瀬 和子(大滝)

〔評〕この句で朝涼の季語をしっかりと味わいたい。朝の涼しさを全身で感じている目線に間伐された杉山がある。一読作者と朝涼を共有出来る。これが俳句。

特選 青き葉を青き蜘蛛の子這ひるたり

古瀬 和子(大滝)

〔評〕見たままの光景のようであるが、蜘蛛の命の誕生の生々としていいる動きが、青い葉を背景に詠われている。作者の小さな生命への讃歌がよい。

特選 客見えて急ぎ服着る暑さかな

新子モモヨ(東川)

〔評〕この暑さは皆さんも経験があるだろう。これが生活詩であり、作者の解放的な姿や慌て振が思われる。本当の滑稽がここにはある。

佳作 村長のスニーカーで来る梅雨の晴

上田 一郎(伯母谷)

巢を取れば逃げ足早き三味線蜘蛛

新子谷生子(北和田)

ヘルメット顔に庭師の三尺寝

中谷トクエ(上谷)

蠍座や端山^{はやま}に出でて空涼し

前田 景子(大滝)

蚊遣り^{かや}たく老母の甲の青き筋

住川 準典(武木)

入選 夕立に草木も吾も生きかへり

栢 源次(東川)

蝸の声の湧きくる朝の月

辻井 清子(大滝)

かぼちゃ苗たった一本実はなるか

竹田サダ子(大滝)

早朝や老鶯の声露こぼる

栢 恭子(東川)

菜種がら昔の思ひ出蛍採り

大西 悦子(北塩谷)



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

川上村はチーム・マイナス6%に参加しています。



チーム・マイナス6%
携帯サイト
www.team-6.jp/mobile/
携帯からの登録はこちら!

相談が急増しています ローコ・ロンドン取引

ローコ・ロンドン取引の名称は、業者によって異なります。

「店頭ロンドン渡し」「スポット取引」「CFD(差金決済)」「GOLDFX(米ドル建貴金属取引)」

ローコ・ロンドン取引とは、客は業者に一定のお金(証拠金)を預け、業者はそのお金をもとに何十倍もの取引を行う証拠金取引です。

この取引の仕組みは複雑で、理解に難しく、一般の消費者が手を出すにはリスクが高く、多額の損失を被る恐れがあります。

理解できないものには、絶対に手をださないことが大切です。

【問い合わせ先】 役場地域振興課 TEL 52-0111
消費生活相談窓口(吉野郡消費者生活実践連絡協議会)

毎週火曜日の13:00~16:00

TEL 0746-32-3081 (9月 吉野町役場)

TEL 0747-52-0001 (10月~12月 下市町役場)

てんいち先生



(川上村人権・同和問題啓発活動推進本部)

田中 姫風 (西河)
 (平成19年9月4日生まれ・1歳)
 ※年齢表記は今月の誕生日で迎える年齢を記載しています。



広報の発行月に誕生日を迎える小さな子どもたちを紹介していきます。子どもたちは村の宝です。村の宝を皆さん大事に見守っていきましょう。



のびっ子広場



前回の「のびっ子広場」

とき 平成20年9月27日(土)
 午前9時～午前11時
 ところ やまぶき保育園
 内容 「保育園の運動会に参加」
 【問い合わせ先】
 やまぶき保育園
 TEL 52-0019
 役場住民福祉課
 TEL 52-0111

かわがみの草花



フシロセンノウ (節黒仙翁)

山地の林下などに生える多年草です。節が太くて黒紫色を帯びることから和名がついています。茎の先に朱赤色の5弁花をつけます。
 花期 夏～秋

国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料(3期)の納期限は9月30日(火)です。

納期限までに納めましょう。納税には、便利・安全・確実な口座振替をご利用ください。

【問い合わせ先】

役場住民福祉課

TEL 52-0111

村の人口

8月31日現在

人口総数	1,994人 (-6人)
男	958人 (-6人)
女	1,036人 (±0人)
世帯数	959世帯 (-1世帯)

8月中の異動

転入	4	転出	7
出生	0	死亡	3

印刷 東洋印刷株

おくやみ (敬称略)

加藤 十四代(井戸)

8月3日 69歳

10万円 新井 繁壽 (西河)

亡母の供養として

20万円 藤田 久和 (西河)

亡妻の供養として

村立図書館へ、次の方から善意が寄せられました(敬称略)

社会福祉協議会へ、次の方から善意が寄せられました(敬称略)